

製品名: DAXX マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80773

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	81kDa

抗原情報

遺伝子名	DAXX
別名	DAP6; EAP1; BING2
遺伝子 ID	1616.0
SwissProt ID	Q9UER7
免疫原	大腸菌で発現したヒト DAXX の精製された組み換え断片。

背景

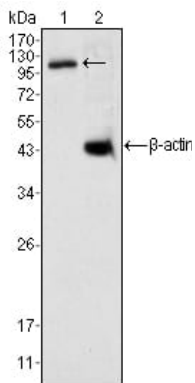
DAXX (デスドメイン関連タンパク質) は、核および細胞質の複数の部位に存在する多機能タンパク質です。アポトーシス抗原 Fas、セントロメアタンパク質 C、転写因子赤芽球症ウイルス E26 癌遺伝子ホモログ 1 など、多様なタンパク質と相互作用します。核内で

は、コードされているタンパク質は、SUMO化された転写因子に結合する強力な転写抑制因子として機能します。このタンパク質を前骨髄球性白血病の核小体または核小体へ隔離することで、転写抑制が解除されます。このタンパク質は、G2期のセントロメアにも結合します。細胞質内では、コードされているタンパク質はアポトーシスを制御する機能を持つと考えられます。このタンパク質の細胞内局在と機能は、SUMO化、リン酸化、ポリユビキチン化などの翻訳後修飾によって調節されます。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生成されます。

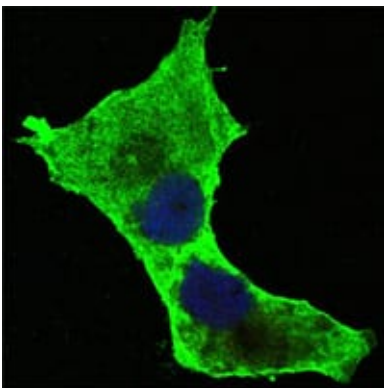
研究分野

アポトーシス、MAPKシグナル伝達経路

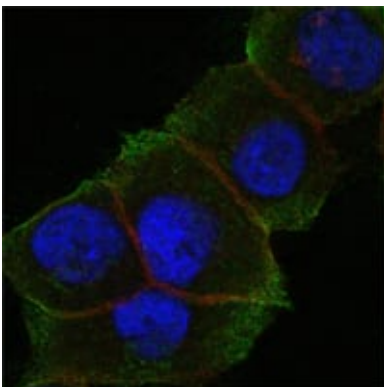
画像データ



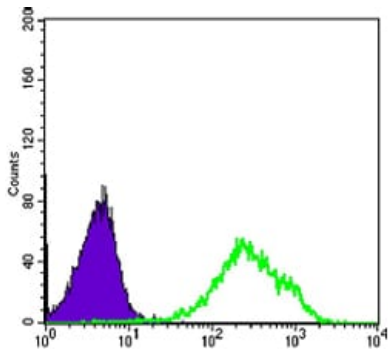
K562細胞溶解物に対するDAXXマウスmAbを用いたウエスタンブロット解析(1)。



DAXXマウスmAb(緑)を用いたPANC-1細胞の共焦点免疫蛍光染色。青: DRAQ5蛍光DNA色素。



DAXXマウスmAb(緑)を用いたHeLa細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントをAlexa Fluor-555ファロイジンで標識。青: DRAQ5蛍光DNA色素。



DAXX マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。